



頑張るあなたを独りにしない

名古屋市議員

久田くにひろ

プロフィール

昭和58年12月31日生まれ。瑞穂区生まれ。陽明小・汐路中・天白高を経て青山学院大学経済学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科修了。不二家・京セラ(KDJ)で法人営業に従事。

街頭活動

1,730回

3月末日時点

Let's Enjoy!!



01

子どもバス導入へ

今夏、小学生を対象に、子どもの体験活動にかかる夏休み中の交通費助成をモデル実施(モニター方式)する。その後、アンケート調査・検証を進めて、令和8年度の本格導入につなげる。



02

買い物弱者支援検討へ

少子高齢化の進展等で、買い物に困難を抱える方が今後ますます増加すると見込まれる。そのため、今年度は買い物支援に関する地域ニーズの調査を実施し、令和8年度のモデル実施につなげる。



03

トワイライト時間延長へ

トワイライトルームへの移行が人材確保等の課題から順調に進んでいない。一方で、夏休みの開設時間の前倒しのニーズが特に高いため、まずは移行候補校において、夏休み中の開設時間を延長し、段階的にルーム移行につなげる。

名古屋民主
市議団の提案で
実現につなげる

令和7年度、名古屋市の新たな取り組み

01

結婚新生活支援金

結婚にかかる経済的な不安を軽減するため、婚姻等を機とした、新生活の住まいにかかる費用の一部(最大60万円、年齢・所得制限等あり)を助成する。



02

敬老パスの値下げ検討

市長は、利用料の値下げを最優先に取り組むことを表明した。今年度に市民へのアンケートを行うなどして方針を固め、値下げに向けて検討を進める。



03

高齢者対象のエアコン設置助成

自宅での熱中症リスクを軽減するため、自宅に設置するエアコンの購入費用(設置工事費含む)または、エアコンの修理費用(最大92,000円、市民税非課税世帯等の条件あり)を助成する。



04

高校給付型入学支援金

経済的に就学の支援が必要と認められる者に対し、高校等入学時の費用(70,000円、所得制限等あり)を給付する。



05

私立高校授業料補助

保護者負担の軽減を図るため、授業料の補助額を増額し、第1子・第2子に対しては所得制限を撤廃する。また、通信制の高校に通う生徒への補助を新設する。

06

グリーンインフラまちづくりの推進

名城公園や三の丸地区で雨庭を導入する。湧き水が重要な水源である山崎川の周辺に位置する瑞穂公園に雨水浸透施設をモデル設置する。



07

個別避難計画作成モデル事業

高齢者や障がい者等のうち、自ら避難することが困難であり、避難の確保を図るため特に支援を要する者(避難行動要支援者)一人ひとりの個別避難計画の作成を全学区でモデル実施する。





TOPIC 01

都心部における子育て支援・相談・遊び場拠点の整備



パパママ☆すぽっと

久田くにひろの質問

758キッズステーションは開所から18年が経ち、入居しているナディアパークや栄地区の状況が変化していることから、利用者の利用形態やニーズも変化している。子育て家庭の不安感・孤立感の解消のための象徴的な施設とするためには、例えば、HAREZA池袋にある「パパママ☆すぽっと」のような、今時の若いパパ・ママが子どもと一緒にいきたいような施設へと、移転を視野にした全面リニューアルを図るべきでは??



子ども青少年局長の答弁



引き続き、子育て支援の中核施設として、より多くの方々に利用いただくためには、親子で一緒にいきたいような施設とすることが非常に大切である。ニーズを把握し、**リニューアルに向けて**、キッズステーションのあり方や機能の拡充等について前向きに検討していく。

久田くにひろの提案(都市消防委員会)

名駅や金山駅周辺でのまちづくりで、子育て世代を支援する機能は重要と答弁。

栄地区だけでなく、名古屋駅周辺や今後再開発を進める金山駅周辺など今時の若いパパ・ママが集まる場所にキッズステーションを開設し、複数展開することは、子育てするなら名古屋を進めていく上で重要。候補地を含めて、ニーズ把握を行うなどしっかり検討することを提案した。



TOPIC 02

若年性認知症になっても働き続けられる環境の整備



当事者の方から、「今の職場で働き続けたい・企業の理解を深めてほしい」との声を多くいただいている。企業に対して認知症の理解促進を図るための啓発や研修をこれまで以上に強化していくべきでは??

久田くにひろの質問



令和7年度に、認知症の方への適切な対応方法について、様々な場面ごとに分かりやすくまとめたリーフレットを新たに作成した上で、管理職や人事労務担当者をはじめ、企業で働く方々への研修機会の充実を図ることで、認知症の理解促進を図るための啓発を強化していく。

健康福祉局長の答弁

TOPIC 03

認知症の方への買い物支援



当事者の方から、「最近のレジは複雑でわかりづらい、買い物へ行くのが嫌になる」との声をいただいている。認知症の方が年を重ねても外出して人と交流し、楽しみながら買い物を自分で行うことで、自信や役割を取り戻すための取り組みとして注目されている「スローショッピング」を進めていくべきでは??

久田くにひろの質問



「選ぶ」「計算する」「会話する」といった行動を通じて、認知症の方の自立した生活の維持を図るとともに、買い物を通じて地域社会とつながる機会を確保する効果が期待できると考えている。先駆的な事例を参考にしながら、スローショッピングがより広がるための取り組みを速やかに検討していく。

健康福祉局長の答弁

※スローショッピング：認知症の人や高齢者のためのスローレジを設置し、列の後ろから急かされることなく安心して買い物を楽めるようにする取り組みのこと。

TOPIC 04

名古屋市における若年層の東京圏への人口流出を防ぐ方策



25歳~29歳が特に際立って高い状況で転出超過が続いている。平成27年策定の計画で課題として挙げているが、何ら改善されないのは、原因究明が不十分のためではないか。専門家と協力しながら、客観的なデータに基づく分析や、偏りの少ない、充実した当事者アンケートを実施するなど、丁寧かつ詳細な原因究明を行い、具体的な対策を講じるべきでは??

久田くにひろの質問



若年層の東京圏への人口流出については、相当な危機感を持って臨まなければならない課題であると認識している。私は、全庁横断的な会議の本部長として、「若年層の東京圏への人口流出」を最重要プロジェクトと位置づけた上で、専門家の意見を直接お聴きし、詳細な原因究明、さらには、実効性のある具体的な対策を指示するなど、私自身が先頭に立ち、全ての局が担当局となって取り組む。

広沢市長の答弁

